

令和 6 年度

【令和 5 年度事業】

大和高田市の教育に関する
事務の管理及び執行の点検評価報告書

令和 6 年 9 月

大和高田市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定に基づき、令和 6 年度（令和 5 年度事業）大和高田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果を報告いたします。

令和 6 年 9 月 9 日

大和高田市教育委員会
教育長 梶木 義敏

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律[抜粋]

（平成 20 年 4 月 1 日施行）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1	教育委員会の活動状況	
	(1) 教育委員会会議の開催状況	1
	(2) 教育委員会会議以外の活動状況	3
2	教育予算の執行に関する状況	5
3	主要な事業の点検・評価	
	(1) 1次評価の概要	5
	(2) 2次評価の概要	6
4	有識者の意見	
	◎有識者の意見の聴取及び概要	7
5	総括	9
6	【別表1】大和高田市まちづくりの指針の体系	10
7	【別表2】事業の評価一覧	11
8	事業の概要と点検・評価	13

点検評価の概要

大和高田市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を実施しております。

令和 5 年度の事業についても、教育委員会の活動の状況、教育予算の執行に関する状況、主要な事業の執行に関する状況について、点検・評価を実施し、外部有識者にご意見をいただき報告書にまとめました。

1 教育委員会の活動状況

（1）教育委員会会議の開催状況

教育委員会は、毎月 1 回の定例委員会と必要の都度臨時委員会を開催し、教育長及び 4 名の教育委員により、教育行政に関する諸施策について審議を行った。定例、臨時委員会における付議案件の件数及び内容については、次のとおりである。

開催日	定例／臨時	案 件
4 月 17 日 (月)	定 例	・ 令和 5 年度大和高田スカウト運動育成協会感謝状授与について ・ 大和高田市いじめ防止基本方針の改定について ・ 大和高田市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 他、後援願 6 件、報告事項 1 件、令和 5 年度の主な事業について
4 月 17 日 (月)	臨 時	・ 高田商業高等学校教諭の処分についての報告 ・ U S B メモリ紛失の件についての報告
5 月 26 日 (金)	定 例	・ 令和 5 年度大和高田市青少年補導会感謝状授与について ・ 大和高田市立学校施設使用条例（一部改正）（案）について ・ 大和高田市いじめ防止基本方針の改定について 他、後援願 6 件、報告事項 3 件、本市における教育課題について
5 月 26 日 (金)	臨 時	・ 市職員人事について

6 月 9 日 (金)	定 例	・大和高田市立学校使用条例施行規則の一部改正について ・大和高田市立学校の管理運営に関する規則の一部改正について ・大和高田市立学校運営協議会設置規則の制定（新規）について 他、後援願 1 件、報告事項 3 件、本市における教育課題について
7 月 21 日 (金)	定 例	・後援願 5 件、報告事項 3 件、本市における教育課題について
8 月 16 日 (水)	定 例	・教育に関する事務の管理及び執行の点検評価について 他、後援願 4 件、報告事項 2 件、本市における教育課題について
8 月 16 日 (水)	臨 時	・令和 6 年度以降使用小学校教科用図書の採択について
9 月 25 日 (月)	定 例	・令和 5 年度教育委員会表彰について 他、後援願 5 件、本市における教育課題について
10 月 19 日 (木)	定 例	・大和高田市就学援助費事務取扱要綱の一部を改正する告示について 他、後援願 6 件、報告事項 1 件、本市における教育課題について
11 月 20 日 (月)	定 例	後援願 2 件、報告事項 3 件、本市における教育課題について
12 月 25 日 (月)	定 例	後援願 2 件
1 月 25 日 (木)	定 例	後援願 5 件、報告事項 1 件、本市における教育課題について
2 月 22 日 (木)	定 例	後援願 4 件、本市における教育課題について
3 月 12 日 (火)	臨 時	・教育職員人事について
3 月 25 日 (月)	臨 時	・市職員人事について ・職員の処分について

3月28日 (木)	定 例	・令和6年度大和高田市部活動地域移行事業業務委託事業者選定プロポーザル審査委員会設置要綱（案）について（新規制定） ・大和高田市就学援助費事務取扱要綱の一部を改正する告示（案）について ・大和高田市立学校水泳監視員派遣要綱の一部を改正する告示（案）について ・大和高田市教育環境あり方検討委員会設置要綱（案）について（新規制定） ・令和6年度大和高田スカウト運動育成協会感謝状授与について ・大和高田市適応指導教室設置規則の一部を改正する規則（案）について ・大和高田市教育委員会事務専決規程の一部を改正する規則（案）について 他、後援願8件、報告事項2件、本市における教育課題について
--------------	-----	--

（2）教育委員会会議以外の活動状況

令和5年度においては新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたため、活動を徐々に再開することとなった。学校訪問についても、感染状況に留意しながら従来どおり実施した。関係行事への出席状況は次のとおりである。

○ 学校訪問

実 施 日	訪 問 校 ・ 園
5月31日（水）	片塩幼稚園・片塩小学校
6月1日（木）	高田西中学校・浮孔小学校
6月5日（月）	片塩中学校・浮孔幼稚園・磐園幼稚園・磐園小学校
6月7日（水）	土庫小学校
6月8日（木）	菅原幼稚園・菅原小学校
6月12日（月）	浮孔西幼稚園・浮孔西小学校・高田中学校
6月13日（火）	高田小学校
9月19日（火）	高田商業高等学校
9月29日（金）	陵西幼稚園・陵西小学校

○ 主な行事

開 催 日	行 事 名
4 月 2 9 日 (土)	スカウト運動育成協会総会
5 月 1 4 日 (日)	高田洋画会展表彰式
5 月 1 6 日 (火)	地域婦人会総会
5 月 2 7 日 (土)	青少年補導会委嘱式・総会
7 月 3 日 (月)	「青少年非行・被害防止強調月間」街頭啓発
7 月 2 8 日 (金)	市町村教育委員会研究協議会
7 月 2 9 日 (土)	大和高田市 P T A こども夢街道
1 0 月 1 7 日 (火)	就学指導委員会
1 0 月 2 3 日 (月)	大和高田市文化財保護審議会
1 1 月 3 日 (金)	選奨式
1 1 月 9 日 (木)	教育委員会表彰式
1 1 月 1 5 日 (水)	奈良県市町村教育委員会研修大会
1 1 月 1 9 日 (日)	大和高田市美術展覧会表彰式
1 2 月 2 1 日 (木)	市町村教育委員会研究協議会
1 月 7 日 (日)	2 0 歳を祝う会
1 月 1 3 日 (土)	大和高田スカウト運動育成協会新年祝賀会
2 月 2 0 日 (火)	大和高田市ロータリークラブ社会奉仕事業
2 月 2 4 日 (土)	大和高田市 P T A 研究大会

2 教育予算の執行に関する状況

令和5年度の教育費予算は、23億9,141万1千円で前年比9.3%の減であった。また、決算額は22億7,631万9千円で、前年比7.9%の減である。減少の主な原因は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、感染症対策に関連する支出が前年度より減ったことによるものである。

教育予算全体での予算額に対する執行率は95.2%で、概ね予定どおりの予算執行であった。

(単位：千円)

	令和4年度		令和5年度		増減額	
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
1 教育総務費	457,349	420,992	474,591	443,694	17,242	22,702
2 小学校費	447,616	415,621	250,978	234,678	-196,638	-180,943
3 中学校費	201,666	183,034	169,978	155,118	-31,688	-27,916
4 高等学校費	398,382	390,631	410,040	403,096	11,658	12,465
5 幼稚園費	350,883	314,474	308,860	297,671	-42,023	-16,803
6 社会教育費	266,121	253,976	253,072	236,756	-13,049	-17,220
7 保健体育費	514,340	493,523	523,892	505,306	9,552	11,783
合計	2,636,357	2,472,251	2,391,411	2,276,319	-244,946	-195,932

3 主要な事業の点検・評価

「大和高田市まちづくりの指針」第2章「将来都市像と基本目標」に掲げた教育関連施策に該当する事業（【別表1】参照）より、主要な26事業を対象とし、各担当課における1次評価、部局における2次評価を行い、自己評価の精度の向上を図るとともに、外部有識者による意見を活用し、報告書にまとめた。なお、評価及びその基準は、次のとおりである。

(1) 1次評価の概要

各担当課において、事務事業評価シートにより、事業の妥当性、有効性、効率性の3項目について、それぞれ4段階の項目別評価（評価が高い、評価がやや高い、普通、評価がやや低い）を行い、それを基に総合的な評価として1次評価を行った。1次評価の結果、「当初の計画を上回って進捗し、特に大きな成果があった」と評価された事業が2事業、「当初の計画通りに執行、成果があっ

た」と評価された事業が 2 3 事業、「当初の計画どおりに執行できたが、改善の余地がある」と評価された事業が 1 事業、「計画どおりに執行できず、課題が残った」と評価された事業はなかった。

評価	基 準	事業数
A	当初の計画を上回って進捗し、特に大きな成果があった	2 事業
B	当初の計画どおりに執行、成果があった	2 3 事業
C	当初の計画どおりに執行できたが、改善の余地がある	1 事業
D	計画どおりに執行できず、課題が残った	0 事業
合 計		2 6 事業

(2) 2 次評価の概要

各担当課による 1 次評価の結果を基に、教育委員会内に 2 次評価組織を設置し、1 次評価の検証並びに 2 次評価を行い、修正すべき点については修正を加えた。2 次評価の結果、「当初の計画を上回って進捗し、特に大きな成果があった」と評価された事業はなく、「当初の計画どおりに執行、成果があった」と評価された事業が 2 5 事業、「当初の計画どおりに執行できたが、改善の余地がある」と評価された事業が 1 事業、「計画どおりに執行できず、課題が残った」と評価された事業はなかった。

評価	基 準	事業数
A	当初の計画を上回って進捗し、特に大きな成果があった	0 事業
B	当初の計画どおりに執行、成果があった	2 5 事業
C	当初の計画どおりに執行できたが、改善の余地がある	1 事業
D	計画どおりに執行できず、課題が残った	0 事業
合 計		2 6 事業

(各事業の評価は、別表 2 参照)

4 有識者の意見

◎有識者の意見の聴取及び概要

教育に関し学識経験を有する者2名を教育委員会において選任し、2次評価後の各事業について、意見をいただいた。各評価に対する意見は次のとおりである。

① 小・中学校施設整備事業

- ◆他市では廊下とトイレの照明が人感センサーとなっているところやLED化されているところがある。業務改善や防犯にも有効であり、児童・生徒による照明の消し忘れについても節電でき、長期的には大きなコスト削減に繋がる。

【教育総務課より】

学校施設の照明機器については、費用対効果や現機器の対応年数、今後の学校再編等を考慮しながら、慎重に進めていきたい。

② 文化財保護事業

- ◆令和6年度事業費予算は、令和3年度・4年度の約2倍となっており、令和5年度と比較しても大幅に増えている理由は何か。また、小・中学生には大和高田市の文化財への認知度が低いため、市社会科研究会との連携が必要であると考える。

【生涯学習課より】

当予算には例年、民間の開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の受託事業を含んでおり、令和6年度においても同様である。この事業は民間の開発事業の実施の有無に左右され、令和3～5年度は実施されなかったため、決算額が低くなったものである。

子どもたちが文化財を身近に感じる取組として、令和3年度に文化財PRキャラクター「ゆぎ丸」を誕生させた。また、夏休み期間には小学生と保護者を対象に、「鏡の鋳造体験」や「勾玉づくり体験」を行っている。地域の歴史や文化をテーマにした小・中学校への出前授業の実施についても検討している。

③ 教育行政全般について

- ◆厳しい財政状況の中、子どもたちや市民のために懸命に取り組んでおられる。アフターコロナの今後、多様な課題に向き合い、効率的に運営されることを望む。
- ◆今後も、大和高田市の教育の発展に尽力いただきたい。

④ その他

◆中学校部活動の社会教育化や民間への移行に取り組んでいただきたい。

◆学校の実態把握について

- ・業務改善・業務縮小の名の下、子どもたちにとって本当に大事な学習や行事まで削減化・矮小化・形骸化される風潮を感じる。「学ぶこと」は子どもたちにとって負担ではなく、人格形成に必要なことである。指導者自身が汗を流すこと、一手間かけることをおろそかにすることがあってはならない。業務のスリム化は必要なことであるが、それによって子どもたちの「頑張ろうとする機会、挑戦する機会」を奪うことは看過できない。子どもたちの視線に立てていない現状はないか、点検する必要があると考える。
- ・学力の基本は「読み・書き・そろばん」である。小学校卒業間近になっても「九九」を克服できていない児童が一定数いることから、小学2年生終了時での「九九」の克服への取組と、「読書量・読書習慣」への取組を総点検することは、現状の学力との相関性を明らかにし、学力向上について検討する機会となるはずである。

【学校教育課より】

中学校部活動の地域移行については、部活動指導員の配置、一部の部活動においての拠点校方式の導入、そしてモデル事業の実施等、着実に進捗している。

子どもたちの人間形成に本当に必要な「学ぶこと」までが削減されることがないように、また、指導者が汗を流し、一手間をかけるための時間を確保するために「働き方改革」が進められていることを各先生方が理解できるよう各校に周知し、教務主任者会や学力向上委員会等で学力向上について検討する際、御意見をいただいた「九九」と「読書量・読書習慣」への取組みの点検を行うよう呼び掛ける。

5 総括

大和高田市教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うとともに、教育委員会が選任した2名の有識者をお願いし、ご意見・感想をうかがった。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、教育活動を少しずつ従来の形に戻し、あらためて教育行政の進め方を時代の流れに沿って見直すことができた一年であった。

有識者よりいただいたご意見を基に、教育の現状を把握するための工夫や、課題について検討し、厳しい財政状況ではあるが、限られた予算の中でより効率的・効果的な教育行政の推進に役立てたい。

6 【別表1】

大和高田市まちづくりの指針の体系

※教育委員会の事業は、主に①～③に該当する。

基本目標	基本施策	重点施策
① 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり	人権を尊重する社会の実現及び 平和を願う市民意識の醸成	
	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	
	国際交流の推進及び国際化社 会への対応	
② 子どもたちの笑顔あ ふれるまちづくり	教育環境の充実	若者世代・子育て世代がすみ よいまちづくり
	子育て支援体制の充実	
③ 健康でいきいきと暮 らせるまちづくり	医療体制の整備・健康づくり事 業の推進	医療・保健・福祉の充実
	地域福祉の推進	
④ 活気あふれるにぎわ いのまちづくり	地域産業の振興	産業の活性化
	農業の振興	
	観光の振興	
⑤ 安心して暮らせる快 適のまちづくり	持続可能なまちづくりの推進	
	都市基盤の整備	災害に強いまちづくり
	生活環境の整備と充実	
	安全で災害に強いまちづくり の推進	災害に強いまちづくり
⑥ 自立と協働のまちづ くり	財政基盤の確立	
	効率的な行政運営の推進	
	市民参画による協働のまちづ くりの推進	

7【別表2】

事業の評価一覧

番号	事業名	基本施策	評価	担当課
1	人権教育の推進	人権を尊重する社会の実現及び 平和を願う市民意識の醸成	B	学校教育課
2	教育委員会表彰事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	教育総務課
3	社会教育関係団体育成事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
4	葛城コミュニティセンター 管理運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
5	中央公民館定期講座運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
6	中央公民館管理運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
7	文化財保護事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
8	幼稚園備品整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
9	幼稚園施設整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
10	小・中学校備品整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
11	小・中学校施設整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
12	教育 I C T 環境整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
13	学校給食業務	教育環境の充実	B	教育総務課

番号	事業名	基本施策	評価	担当課
14	特別支援教育	教育環境の充実	B	学校教育課
15	外国人講師派遣事業	教育環境の充実	B	学校教育課
16	幼児教育の充実	教育環境の充実	B	学校教育課
17	資格取得の推進	教育環境の充実	B	学校教育課 (商業高校)
18	部活動の推進	教育環境の充実	B	学校教育課 (商業高校)
19	適応指導教室（かたらい教室）	教育環境の充実	B	教育支援課
20	青少年補導員活動事業	教育環境の充実	B	教育支援課
21	青少年指導員活動事業	教育環境の充実	C	教育支援課
22	教育の日・大和高田市青少年 健全育成研修会	教育環境の充実	B	教育支援課
23	青少年健全育成支援教室（旧 家族ふれあい教室）	教育環境の充実	B	教育支援課
24	図書館運営事業	教育環境の充実	B	生涯学習課
25	就学援助および特別支援教育 就学奨励事業	子育て支援体制の充実	B	学校教育課
26	若者の居場所づくり事業	地域福祉の推進	B	教育支援課

事業の概要と点検・評価

基本目標	認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり
------	---------------------

基本施策	人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成
------	----------------------------

人権が尊重される明るく豊かな地域社会を実現するため、一人ひとりが人権を尊重する意識を持ち、自分の人権だけでなく、他人の人権も思いやるまちづくりを進めます。また、人々が笑顔であるためには、何よりも平和な社会が必要です。1985年(昭和60年)に採択した「非核・平和都市宣言」の精神に基づき、平和を願う市民意識の醸成に努めます。

事業名	人権教育の推進	担当課	学校教育課
事業の概要	人権教育の充実を図り、人権尊重の理念を育み、生命と個人の尊厳を重んじる精神の育成に努めるもので、大和高田市人権教育研究会が実施する事業を補助し、各種研修会の開催並びに各校での人権教育講演会等を実施している。		
実績等	令和4年度事業費 33,621 千円 令和5年度 〃 35,228 千円 令和5年度大和高田市人権教育研究会活動状況 総会 夏期課題別研修会 研究集会、推進委員会（毎月1回開催） 研究委員会（4回）、事務局会議（毎月2回） 人権作文集の発行 等		
点検・評価	各校から事業についての取組を報告されており、ほぼ計画どおりに執行できている。人権教育研究会の研究大会では、あらゆる視点からの熱心な取組が報告されており、人権教育の深化が図られているが、時代の流れや社会の変化とともに、様々な人権課題への取組が急がれていることから、今後も事業の継続、充実が必要である。		

基本施策

生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備

市民が心豊かで生きがいを持って、よりよい人生を過ごせるように、生涯にわたって自らの人生デザインがふくらむ生涯学習機会の充実を図ります。

また、地域に伝わる伝統行事や歴史財産を守り、継承するとともに、人々に感動・誇りや生きる喜びをもたらす活動を推進し、郷土愛にあふれる未来へのまちづくり・人づくりに取り組みます。さらに、市民が健康でいきいきと暮らせるよう、生涯スポーツの啓発、環境の整備に取り組みます。

事業名	教育委員会表彰事業	担当課	教育総務課
事業の概要	大和高田市教育委員会表彰規程に基づき、大和高田市の教育・文化・芸術・スポーツの各分野において、 ・有益な研究、考案又は発明をし、教育に貢献したもの ・学校教育、社会教育又は社会体育の振興について、功績が顕著なもの ・市内の学校の児童、生徒で特に表彰することが適当と認められるもの に対して、奈良県教育週間の事業の一環として、毎年11月にさざんかホールのレストランホールにおいて、賞状を授与し、その功績を顕彰する。		
実績等	令和4年度事業費 95千円 令和5年度事業費 82千円	被表彰者数 7名・1団体 “ 5名	
点検・評価	教育・文化・芸術・スポーツの各分野において、顕著な功績を残した個人・団体や他の者の模範となる者の永年の功績や経験を顕彰することにより、今後のさらなる活動の活性化を促し、本市学校教育、社会教育、社会体育の振興に貢献する事業であり、概ね期待どおりの成果であった。		

事業名	社会教育関係団体育成事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	婦人会、PTA等の社会教育団体の活動を通し、会員相互間の親睦を深め、地域の文化、教育の向上と地域における活動のリーダーとなる人材の育成を図る。 社会教育団体 地域婦人会連絡協議会 各校区婦人会より構成され、会の発展とともに、女性の教養と地位向上を図る。 PTA協議会 市内公立学校・幼稚園・こども園の各PTAにより構成され、PTA相互の連携を密にし、PTA活動の発展と学校教育の振興に努める。 美術協会 日本画、洋画、書芸、写真、陶芸、彫塑の6部門で構成、本市美術活動の推進に努める。		

実 績 等	令和4年度補助金 918 千円 会員総数 423 人 令和5年度 〃 1,145 千円 〃 382 人 令和5年度の主な事業 地域婦人会連絡協議会・・・月1回の会議、総会（書面開催） PTA協議会・・・・・・月1回の会議、総会（書面開催）、 研究大会 子ども夢街道 等 美術協会・・・・・・各部門別の展覧会及び美術協会展の開催、 市美術展覧会開催 在日外国人日本語講座実行委員会・・・日本語講座
	点検・評価 会員数の減少はあるものの、各団体の活動のほか、市の行事等へも積極的に参加され、地域文化の向上に大きな役割を果たしており、概ね当初の計画どおりに執行できている。今後は会員数の減少も鑑み、活動内容について団体の助言することも必要と考える。

事業名	葛城コミュニティセンター管理運営事業	担当課	生涯学習課																																										
事業の概要	地域住民の文化の向上と福祉の増進を図るため、住民相互の連帯感を育成し、ふれあい豊かな場として活用するため、適正な施設の維持管理に努める。																																												
実績等	令和4年度事業費11,449千円 令和5年度〃18,574千円 令和5年度の主な実績 <table><tr><td>開館日数</td><td>288日</td><td>(289日)</td></tr><tr><td>教室延べ実施回数</td><td>183回</td><td>(186回)</td></tr><tr><td>延べ受講者数</td><td>1,718人</td><td>(1,566人)</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>15,449人</td><td>(12,206人)</td></tr></table> ()は令和4年度 令和5年度開催の教室・講座（実施回数、延べ受講者数） <table><tr><td>小倉百人一首かるた</td><td>12回</td><td>100人</td><td>実用書道</td><td>24回</td><td>398人</td></tr><tr><td>ジュニア将棋</td><td>12回</td><td>79人</td><td>楽しいクラフト教室</td><td>11回</td><td>76人</td></tr><tr><td>おとなのピアノ教室</td><td>30回</td><td>107人</td><td>デコ・アメリカンフラワー</td><td>12回</td><td>49人</td></tr><tr><td>パソコン教室</td><td>24回</td><td>234人</td><td>ハンドメイド ZAKKA</td><td>12回</td><td>66人</td></tr><tr><td>生け花教室</td><td>18回</td><td>181人</td><td>等</td><td></td><td></td></tr></table>			開館日数	288日	(289日)	教室延べ実施回数	183回	(186回)	延べ受講者数	1,718人	(1,566人)	延べ利用者数	15,449人	(12,206人)	小倉百人一首かるた	12回	100人	実用書道	24回	398人	ジュニア将棋	12回	79人	楽しいクラフト教室	11回	76人	おとなのピアノ教室	30回	107人	デコ・アメリカンフラワー	12回	49人	パソコン教室	24回	234人	ハンドメイド ZAKKA	12回	66人	生け花教室	18回	181人	等		
開館日数	288日	(289日)																																											
教室延べ実施回数	183回	(186回)																																											
延べ受講者数	1,718人	(1,566人)																																											
延べ利用者数	15,449人	(12,206人)																																											
小倉百人一首かるた	12回	100人	実用書道	24回	398人																																								
ジュニア将棋	12回	79人	楽しいクラフト教室	11回	76人																																								
おとなのピアノ教室	30回	107人	デコ・アメリカンフラワー	12回	49人																																								
パソコン教室	24回	234人	ハンドメイド ZAKKA	12回	66人																																								
生け花教室	18回	181人	等																																										

点検・評価	本市南部の文化、生涯学習の拠点として貸館や講座を行い、重要な役割を果たしている。駐車場の整備を行ったことで利用者の利便性は向上し、受講者数は前年度より多くなり、講座内容については利用者の満足を得ている。今後も市民の学習意欲を高め支えられるよう、内容を一層充実させていかなければならない。
-------	---

事業名	中央公民館定期講座運営事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	大和高田市の生涯学習の拠点として、市民の趣味や教養を高める講座を開講し、市民一人一人が生きがいのある人生を実現できるよう、1年間を通して講座活動を支援し、その成果を発表する機会として、例年は成果発表会を開催している。		
実績等	令和4年度事業費 8,033 千円 令和5年度 〃 5,541 千円 令和5年度の主な実績 開館日数 288 日 受講者数 4,913 人 (令和4年度 開館日数 289 日 受講者数 6,621 人) 令和5年度定期講座(年間開催回数、延べ受講者数) 日本画教室 40 回 391 人 木彫教室 20 回 30 人 美術教室 20 回 105 人 陶芸教室 20 回 108 人 書道教室 20 回 193 人 写真教室 20 回 139 人 華道教室 20 回 73 人 創作教室 10 回 17 人 着付教室 33 回 297 人 若葉コーラス教室 43 回 737 人 コーラスひまわり 40 回 1,816 人 中央高齢者学級 10 回 305 人 高田視聴覚講座 10 回 231 人 等 令和5年度自主講座(61 サークルが活動) 日本画、洋画、書道、陶芸、写真、創作、英会話、舞踊、大正琴、太極拳等の自主サークル 令和5年度成果発表会 参加団体総数 31 団体 成果発表 9 団体 コーラス、大正琴、詩吟、民踊、社交ダンス 作品展示 22 団体 310 作品		
点検・評価	利用者数の減少は見られるが、高齢者の社会参加という観点から継続が必要な事業である。生涯学習と地域コミュニティの拠点として、積極的な学習機会の提供に努め、概ね計画どおりに執行できている。公民館主催の定期講座を終えたOBによる自主サークル活動も活発であり、市民の学習意欲の高さが感じられる。高齢者の生きがいづくり、生涯教育の推進という観点から、今後も充実した学習機会を提供していかなければならない。		

事業名	中央公民館管理運営事業	担当課	生涯学習課															
事業の概要	本市の生涯学習の拠点として、各種定期講座や自主講座、その他の諸行事を円滑に開催することが出来るよう、定期点検や修理修繕等施設の適正な維持管理に努め、生涯学習の推進を図る。 (施設の概要) 1F/ 事務室・生涯学習課事務室・視聴覚室・美術陶芸室・調理実習室 2F/ 第1・2講座室・第3講座室・第4講座室・和室①・和室②・創作室 3F/ 大ホール・控室																	
実績等	令和4年度事業費 13,744 千円 開館日数 289 日 利用者数 40,323 人 令和5年度 " 13,963 千円 " 288 日 " 40,249 人 令和5年度施設の主な利用状況 <table><tr><td>教育委員会関係</td><td>108 件</td><td>2,068 人</td></tr><tr><td>教育委員会以外の行政</td><td>26 件</td><td>875 人</td></tr><tr><td>地域運営組織等</td><td>45 件</td><td>875 人</td></tr><tr><td>定期講座等</td><td>358 件</td><td>4,913 人</td></tr><tr><td>自主講座</td><td>2,408 件</td><td>31,472 人</td></tr></table>			教育委員会関係	108 件	2,068 人	教育委員会以外の行政	26 件	875 人	地域運営組織等	45 件	875 人	定期講座等	358 件	4,913 人	自主講座	2,408 件	31,472 人
教育委員会関係	108 件	2,068 人																
教育委員会以外の行政	26 件	875 人																
地域運営組織等	45 件	875 人																
定期講座等	358 件	4,913 人																
自主講座	2,408 件	31,472 人																
点検・評価	利用者の活動が広がり、従来の公民館の姿を取り戻しつつあるが、高齢化する利用者の利便性や安全を確保するため、適切な施設整備や他の施設への機能移転も検討する必要がある。各定期講座・教室、自主サークルやその他の諸行事の開催に有効に利用されており、本市生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている。																	

事業名	文化財保護事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	埋蔵文化財包蔵地の範囲を周知し、埋蔵文化財包蔵地における開発行為に対して、現場立会いのうえ、試掘調査の要否について判断している。その結果、重要な遺物・遺構の出土が見られた場合は本調査を行い、記録の作成、出土品の整理等の適正な処理を施し、埋蔵文化財の保存に努め、埋蔵文化財の破壊・散逸を未然に防止する。		

実績等	令和４年度事業費 4,266 千円 令和５年度 " 5,042 千円 令和４年度 発掘届出件数 36 件 令和５年度 " 50 件
点検・評価	開発に伴う埋蔵文化財の発掘届出件数は増加傾向にある。民間の開発事業に伴う発掘調査経費は、開発事業者に協力を求めるため、コスト的には適切である。令和５年度は住宅の建築工事に伴い、池田遺跡の発掘調査を実施した。調査で得られた成果や出土品は、保管するだけでなく、市内外への周知及び公開に努め、市民の歴史への理解と文化財保護意識の高揚に向けて情報発信に努めたい。PRキャラクター「ゆぎ丸」は、少しずつ認知度を高めており、市外施設よりキャラクターの使用依頼があった。

基本目標	子どもたちの笑顔あふれるまちづくり
------	-------------------

基本施策	教育環境の充実
------	---------

未来を担う子どもたちが健やかに成長していくことができるよう、確かな学力、豊かな人間性やたくましい心身の育成など、知・徳・体のバランスのとれた教育の実現に取り組めます。

事業名	幼稚園備品整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	園児の健全な成長を促し、教育の質の向上を図るため、備品の整備を進める。備品購入費の予算を確保し、各園の状況を考慮しつつ、優先順位の高いものから対応する。		
実績等	令和4年度事業費 1,445 千円 令和5年度 〃 395 千円 令和5年度主な整備備品 (園用備品) ワイヤレスアンプ、園児用椅子、ワンタッチテント 他		
点検・評価	限られた予算の中、各園において精査し、有効な備品の整備に努めており、概ね当初の計画どおりに執行できた。全体的に機器等の老朽化が見られ、修理も含め、今後は各園の状況に合わせて段階的に改善する必要がある。		

事業名	幼稚園施設整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	園児の安全で健やかな成長を促進するため、園施設・設備の維持管理に努めるとともに、営繕担当の会計年度任用職員を配置し、自前修理の可能な修理・修繕にも迅速に対応する。		
実績等	令和4年度事業費 12,787 千円 令和5年度 〃 4,303 千円 令和5年度の主な整備 菅原幼稚園 空調機器改修工事 市内4幼稚園 遊具改修工事		

点検・評価	計画的に施設整備を行うことができた。施設および設備の保全については、2名の営繕担当職員により可能な限り修理等を行い、コストの軽減に努めている。限られた予算の中で修繕を執行し、概ね当初の計画どおりに執行し、成果があった。
-------	---

事業名	小・中学校備品整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	子どもたちが意欲を持ち、積極的に学習に取り組み、学力の向上と健全な育成を促すことができるよう、備品等の整備を進める。校用備品、教材用備品、理科教育設備用備品、特別支援教育用備品の各々について、学校からの要望を聴取、教育総務課で予算化、一括入札を実施、購入を行い、教育環境の整備に努める。		
実績等	令和4年度事業費 14,904 千円 児童・生徒数 3,634 人 令和5年度 〃 12,896 千円 〃 3,519 人 令和5年度の主な整備備品 (校用備品) 小学校：コンパクトステレオ、ジェットヒーター、椅子 等 中学校：椅子、机、プリンター、ロッカー 等 (教材用備品) 小学校：ミシン、跳び箱、作品乾燥棚、スネアドラム 等 中学校：シンバル、ビデオカメラ、跳び箱、電流計、 等 (理科教育設備用備品) 小学校：実験用てこ、電源装置、双眼実体顕微鏡 等 中学校：自動製氷器、大型滑車実験器、電源装置 等 (特別支援学級用備品) 小学校：バランス平均台、ホワイトボード、ポッチャボール 等 中学校：ロッカー、スクリーン掲示板 等 (感染症対策用備品) 小学校：ジェットヒーター、パッケージエアコン 等 中学校：サーキュレーター加湿器		
点検・評価	小中学校からの要望・必要性を精査し、有効な備品の整備に努め、効率的な執行をしている。感染症対策備品については補助金等を活用して購入し、概ね当初の計画どおりに執行することができた。今後も計画的に進めるとともに、各学校の状況を把握し、適正管理に努める必要がある。		

事業名	小・中学校施設整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	児童・生徒の安全で健やかな成長を促進するため、学校施設・設備の維持管理に努める。また、営繕担当の会計年度任用職員を配置し、自前修理の可能な修理修繕に迅速に対応する。		
実績等	令和4年度事業費 237,942 千円 令和5年度 〃 77,434 千円 令和5年度の主な整備 高田小学校特別支援教室エアコン取替工事、陵西小学校電話機増設工事、 菅原小学校遊具設置工事、片塩中学校普通教室窓側建具改修工事、 高田西中学校プール修繕工事 他		
点検・評価	令和5年度は当初予定をしていなかった陵西小学校電話機増設設置工事を行ったが、その他の工事も効率良く執行することができ、成果があったと考えられる。幼稚園と同様、施設の軽微な不具合については、可能な限り専属の営繕担当職員による修繕を行っている。今後、学校の統廃合の可能性を踏まえて、インフラ関係を中心に修繕計画を立てていく必要がある。		

事業名	教育ICT環境整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	確かな学力をより効果的に育成するため、言語活動の充実やグループ学習、文科省の掲げるGIGAスクール構想を含むICT（情報通信技術）の積極的な活用の基礎となる環境の整備を行う。		
実績等	令和4年度事業費 92,617 千円 令和5年度 〃 76,679 千円 令和5年度の主な整備 GIGAスクール構想到に係る環境整備 中学校インターネット回線の強化、情報セキュリティ研修、 学校ホームページの移行 等		
点検・評価	GIGAスクール構想で整備した児童・生徒用端末をさらに活用できるよう、教員用端末の配備やサポート体制を充実させ、家庭学習での活用につなげることができた。また、情報セキュリティ意識の向上を目的とした研修を教職員対象に行う等、概ね当初の計画どおり執行することができた。		

事業名	学校給食業務	担当課	教育総務課
事業の概要	栄養バランスの取れたおいしい給食を提供することにより、栄養健康管理を推進し、食に関する生きた教材として、食事のあり方等について学ぶことを目的に、幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒に給食を提供する。		
実績等	令和4年度事業費 241,604 千円 年間給食総食数 684,297 食 令和5年度 " 248,071 千円 " 730,671 食 月～金曜日 週5回の給食を提供 幼稚園（6園）・小学校（8校）・中学校（3校）で学校給食を実施 主食(月・火・水・金曜日は米飯、木曜日はパン)と副食、牛乳の完全給食を提供		
点検・評価	栄養バランスや正しい食の知識を身につけ、食べる事への興味・関心を持ってもらえるよう献立に行事食や旬の食材を取り入れ、地場産物を活用するなど、食育の推進を図った。安心して給食が食べられるよう、安全・衛生面に留意して給食を提供し、概ね当初の計画どおりに執行し、成果があった。		

事業名	特別支援教育	担当課	学校教育課
事業の概要	就学指導委員会において、特別に支援を要する幼児・児童・生徒の教育相談を実施し、適正な就学を確保する。学校では、特別支援学級において子どもたちの個々のニーズに合った教育を実施している。幼稚園に加配講師、小・中学校に教育活動補助員の人員配置をし、支援の充実を図る。		
実績等	令和4年度事業費 53,957 千円 令和5年度 " 65,309 千円 令和5年度実施の主な事業 特別支援教育担当者対象の研修会開催 特別支援校内委員会において、特別支援コーディネーターを中心に校内での職員研修会実施 等		
点検・評価	就学指導委員会において教育相談を実施し、各校の特別支援学級においても適切な指導や支援を行っており、概ね当初の計画どおりに執行できている。しかし、特別な支援を要する幼児・児童・生徒の増加に伴い、本市の目指す特別支援教育を明確にし、より効果の上がる指導体制の充実を図る必要がある。		

事業名	外国人講師派遣事業	担当課	学校教育課
事業の概要	外国人講師による生きた外国語（英語）や外国の文化・生活習慣等に触れる機会を設けることで園児・児童・生徒の外国への興味を深め、コミュニケーション能力の向上を図る。市内各幼稚園・小学校・中学校・高等学校に外国人講師を派遣している。		
実績等	令和4年度事業費 20,070 千円 令和5年度 " 20,070 千円 令和5年度の実績（小・中学校については、児童・生徒数による） 幼稚園1園当たり9日 小学校1校当たり28～63日程度 中学校1校当たり63～98日程度 高等学校115日		
点検・評価	プロポーザル方式による業者選定を導入することにより、安定して信頼出来る外国人講師を派遣することができている。ネイティブスピーカーとのコミュニケーションの機会を持つことは、英語学習に対する意欲を高め、グローバルに活躍する人材の育成へと繋がることから、継続して実施する必要がある。		

事業名	幼児教育の充実	担当課	学校教育課
事業の概要	いろいろな体験や遊びを通じ、健康な体力づくりの基礎を培い、情緒的・知的な発達や社会性を育み、心豊かにたくましい子どもを育成する。また、様々な事業を通し、保護者の子育て支援の充実を図る。		
実績等	令和4年度事業費 18,591 千円 令和5年度 " 18,641 千円 令和5年度事業 わくわく子育て事業 小・中学校、保育所との交流事業 園庭開放		

点検・評価	市民のニーズが高い預かり保育を実施したことにより、園児数の減少を緩やかにしている。事業は、概ね計画どおり執行できているが、長時間保育を希望し、こども園や保育所に入園希望する保護者の増加が見られる。そのため、長期休暇中の預かり保育を拡充する等、保育内容を充実させ、園児数の増加に繋げる事業を展開している。地域の特色を捉え、工夫して教育活動を継続する必要がある。
-------	---

事業名	資格取得の推進	担当課	学校教育課 (商業高校)
事業の概要	将来を担う有為な人材の育成に努め、各々の分野における生徒の能力、適正、意欲を伸ばす等、教育の多様化にも柔軟に対応し、実社会に向け確かな勤労観、職業観を持った即戦力となる人材を育成する。また、大学入試等進学にも有利になるよう、日商簿記検定、全商簿記実務検定、全商情報処理検定、全商商業経済検定、全商ビジネス文書実務検定、全商珠算・電卓検定、全商英語検定等の資格検定について、1級合格者数のアップ等、資格取得の合格率を上げるよう努める。		
実績等	令和4年度 生徒数 593名 各種検定1級延べ合格者 785名 令和5年度 " 597名 " 816名 令和5年度各種資格取得の状況 日商簿記検定 : 2級合格者 22名(20) 全商簿記実務検定: 1級合格者 150名(171) 全商情報処理検定: 1級合格者 185名(166) 全商商業経済検定: 1級合格者 188名(182) 全商ビジネス文書実務検定(ワープロ検定): 1級合格者 28名(43) 全商珠算・電卓検定: 1級合格者 198名(202) 全商英語検定 : 1級合格者 35名(21) 全商検定3科目以上合格者 191名(179) 他 令和5年度進路の状況 4年生大学 60%(65) 短期大学 5%(5) 専門学校 16%(11) 就職 19%(18) ()は令和4年度		
点検・評価	生徒たちの努力と学校の積極的な取組で多くの合格者を輩出しており、社会に必要とされる人材の育成に努めている。時代の流れに合わせ、グローバル社会に対応できる人材育成に向け、英語教育の充実と、英語検定の取得率向上にも努める。		

事業名	部活動の推進	担当課	学校教育課 (商業高校)
事業の概要	生徒には、必ずいずれかの部に所属するように指導をしており、部活動を通じ、身体的、精神的に強い意志を持ち、規則正しく、礼儀正しい人間を育成することを目的とし、運動部、文化部の活動を支援し、指導の強化に努める。 運動部・・・野球、ソフトテニス、サッカー、卓球、バスケットボール、弓道、バレーボール、ソフトボール、陸上、バドミントン 文化部・・・吹奏楽、簿記、ワープロ、書道、茶道、華道、情報処理、美術、英語、珠算、家庭、アカペラ、ボランティア		
実績等	令和4年度生徒数 593名 令和5年度生徒数 597名 令和5年度各競技の主な成績 ソフトテニス部・・・JOCジュニアオリンピックカップ大会 U20ダブルス 3位 U17シングルス 優勝 等 弓道部・・・近畿高等学校弓道選抜大会 女子個人 優勝 等 珠算電卓部・・・高校簿記・電卓対抗戦 関西中央本大会 電卓の部 団体 3位 等 英語部・・・全国高等学校英語スピーチコンテスト 優良賞 等		
点検・評価	運動部、文化部ともに毎年全国規模の大会に出場できるレベルであり、多くの部活動でハイレベルの活躍が見られ、成果があったと考えられ、各部において活発に活動し、好成績を残している。部活動を通じた身体的、精神的に強い人間形成の成果が進学、就職にも有効に表れ、卒業後の可能性を広げることにつながっており、今後も更なる活躍を期待する。また、自らを向上させようとする地道な努力を評価する体制づくりにも力を入れるとともに、成長するための基礎づくりとしての部活動の役割を再認識したい。		

事業名	適応指導教室（かたらい教室）	担当課	教育支援課
事業の概要	心理的、情緒的な要因により不登校となった児童・生徒に対し、学校への復帰を支援するため、平成6年に開設。当初は不登校児童等への心理的支援を主な事業としていたが、平成15年度より学習支援を目的とする事業が新たに加わった。心理相談員や指導員を配置し、生徒達の実態を把握、集団生活への適応指導、適応指導に関する調査研究を通し、学校復帰及び心理的問題の解決を図るとともに、学校へ臨床心理士、指導員を派遣している。また、いじめ等への教育アドバイザーによる電話相談等の教育支援を行っている。令和6年度より「適応指導教室」を「教育支援ルーム」に改称した。		
実績等	令和4年度事業費 24,056千円 令和5年度 〃 22,944千円 令和5年度適応指導教室開所日数 243日(243日) 〃 在籍者数 119名(112名) ()は令和4年度		
点検・評価	不登校児童・生徒への心理的な支援だけでなく、教育的な支援も効果を発揮し、概ね当初の計画どおりに執行し、成果があった。大和高田市適応指導教室設置規則の中で適応指導教室職員の職務分担を明確化し、対象者の定義や手続きを定めたことにより、事業を円滑に運用することができている。学びの多様性が急速に広がっていることから、学ぶ場の選択肢の一つとして適応指導教室が担う役割は大きくなっており、指導員の質の向上、内容の精査が必要である。		

事業名	青少年補導員活動事業	担当課	教育支援課
事業の概要	青少年の問題行動を未然に防止するため、巡視活動を行うとともに、各種の事故防止活動の推進を図り、青少年の健全な育成、指導にあたる。		
実績等	令和4年度事業費 180千円 令和5年度 〃 169千円 令和5年度 行事・研修会回数 24回 延べ参加人数 628人		

点検・評価	青少年に悪影響を及ぼすと思われる場所を中心に巡視活動を行っており、問題行動を未然に防止している。事務局と役員で連携を密に取り、子どもの見守りを強化することで少年犯罪の減少に貢献しており、概ね計画どおりに執行できている。
-------	---

事業名	青少年指導員活動事業	担当課	教育支援課								
事業の概要	市内に在住の幼児・児童・生徒を対象とし、野外活動やハイキング、レクリエーション活動等の事業を実施し、文化や自然にふれあうことにより、次代を担う青少年の健全育成を推進する。また、研修会を開催し、指導員の資質の向上を図ることにより、事業の有効的な推進を図る。										
実績等	<table> <tr> <td>令和4年度事業費</td><td>225千円</td><td>延べ参加人数</td><td>145人</td></tr> <tr> <td>令和5年度</td><td>225千円</td><td>〃</td><td>108人</td></tr> </table>			令和4年度事業費	225千円	延べ参加人数	145人	令和5年度	225千円	〃	108人
令和4年度事業費	225千円	延べ参加人数	145人								
令和5年度	225千円	〃	108人								
点検・評価	野外活動等の催しを行うとともに、青少年指導員の能力維持のための会議や研修を継続して行った。会場等の都合で実施できなかった行事があり、参加人数の減少があったが、今後の課題は、行事の参加者が将来、指導員として活躍できる仕組みを構築し、事業の継続性を担保することである。										

事業名	教育の日・大和高田市青少年健全育成研修会	担当課	教育支援課
事業の概要	教育に対する意識や関心を高めるとともに、家庭・地域社会及び学校がより一層連携を深め、教育の充実を図るため、研修会を開催し、今後の青少年育成の資質向上を図る手掛かりとする。		
実績等	令和5年度事業の実績 教育の日・大和高田市青少年健全育成研修会 参加人数 67人 『伸ばしたいなら離れなさい～子どもをぐんぐん伸ばす11の魔法～』		
点検・評価	一般市民に参加を呼びかける形で開催し、前年度を超える参加者数で、内容についても大変好評で、参加者のニーズと合致していたと思われる。今後、幅広い層の受講者の参加を促すために、開催時間、託児体制等を考慮した準備が必要である。		

事業名	青少年健全育成支援教室 (旧家族ふれあい教室)	担当課	教育支援課
事業の概要	教育に対する意識や関心を高めるとともに、家庭・地域社会及び学校がより一層連携を深めるため、体験教室を開催し、今後の青少年育成の資質向上を図る。		
実績等	令和5年度事業の実績 大和高田市子ども子育て支援教室「クラフトワークショップ」 参加人数 25人		
点検・評価	令和5年度については、イベントの周知をすることができ、早期に定員以上の申し込みがあったことから、市民のニーズにあった事業であったと考えられ、当初の計画どおりに執行することができた。今後も市民のニーズを把握し、企画・立案することで、参加者の増加を目指す。		

事業名	図書館運営事業	担当課	生涯学習課																				
事業の概要	市民の誰もが利用できる「学びの場」として、「本との出会い、人との出会い」を大切にし、市民が「心の豊かさ、生きがい」を得、学習意欲を高められるよう情報の提供を行い、「暮らしの中にある、役立つ図書館」として有効に機能できるよう管理運営に努める。県内外他市町村公立図書館との相互貸出サービスやリクエストによる本の購入、本の予約制度、生後4ヶ月健診児へのブックスタートライブラリーの配布等の事業を積極的に展開する。また、インターネットによる蔵書の検索サービスを提供、ネット上で蔵書の有無、予約の状況等の照会が可能となっている。																						
実績等	<table border="0"> <tr> <td>令和4年度事業費</td><td>51,072 千円</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>令和5年度 〃</td><td>58,945 千円</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>令和5年度</td><td>個人貸出者数</td><td>51,030 人</td><td>(50,499 人)</td></tr> <tr> <td></td><td>個人貸出冊数</td><td>180,198 冊</td><td>(180,843 冊)</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>() は令和4年度</td></tr> </table>			令和4年度事業費	51,072 千円			令和5年度 〃	58,945 千円			令和5年度	個人貸出者数	51,030 人	(50,499 人)		個人貸出冊数	180,198 冊	(180,843 冊)				() は令和4年度
令和4年度事業費	51,072 千円																						
令和5年度 〃	58,945 千円																						
令和5年度	個人貸出者数	51,030 人	(50,499 人)																				
	個人貸出冊数	180,198 冊	(180,843 冊)																				
			() は令和4年度																				
点検・評価	貸出冊数については前年度より減少が見られるが、貸出者数は増加しており、市民の生涯学習の場として、また学習意欲の向上を支援する場として役立っていることがうかがえる。																						

基本施策	子育て支援体制の充実
------	------------

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長し、「子どもの最善の利益」が実現されるよう、多様化する価値観、ニーズに応じた子育て支援サービス（保育サービス、子育て家庭に対するサービスなど）を充実させ、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

事業名	就学援助および特別支援教育就学奨励事業	担当課	学校教育課
事業の概要	経済的に困窮する世帯の子ども等すべての子どもに等しく学校教育が受けられるよう支援を行う。また、特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力に応じて就学に必要な経費を負担する。		
実績等	令和4年度事業費 45,310 千円 令和5年度事業費 32,809 千円	援助児童・生徒数 657 人 援助児童・生徒数 668 人	
点検・評価	令和5年度は、GIGAスクール構想の一環として、家庭でのオンライン学習に係る通信費を就学援助費の費目として追加し、概ね当初の計画どおり執行することができた。今後も引き続き状況に応じた細やかな対応を視野に入れ、対象世帯に対して適正な支給事務を進める。		

基本目標	健康でいきいきと暮らせるまちづくり
------	-------------------

基本施策	地域福祉の推進
------	---------

地域福祉推進の主体である地域住民などの参加を得て、地域生活課題を明らかにするとともに、その解決のために必要となる施策の内容などについて、庁内関係部局はもとより、多様な関係機関や、専門職も含めて協議の上、すでにある他の計画を踏まえた「大和高田市地域福祉計画」を策定し、地域福祉の推進に向けた取組を進めます。

事業名	若者の居場所づくり事業	担当課	教育支援課
事業の概要	若者の地域社会への帰属意識及び自己肯定感の向上を図るため、若者の居場所を提供することにより、地域社会からの孤立の防止を目的とする。対象は、市内在住の40歳未満で、義務教育を終了した後、中途退学や早期離職等により社会的孤立のおそれがある者としており、社会福祉課の事務の補助執行という形で実施している。		
実績等	令和5年度事業費 1,143千円(612千円) ヒサカタ・ヒサ会実施回数 53回(53回) 参加者数 229人(271人) ()内は令和4年度		
点検・評価	概ね当初の計画どおりに執行できている。心理相談員を配置する等、より効果的な支援を検討しながら実施できている、継続が必要と考えられる。今後は、専門的知識を有する人材の確保及び市長部局や関係機関が一体となったプラットフォーム作りについて検討の余地がある。		